

# そうさ 師瑳議会だより

第75号

2025

令和7年

2月26日発行



## ゴール目指して!

## 『師瑳市健康マラソン大会』

### 12月定例会

令和6年12月定例会は、11月29日に招集され、12月16日までの会期18日間をもって開かれた。

初日に市長から議案12件について、提案理由の説明があった。

その後、平山政利議長・石橋春雄副議長から正副議長職の辞表が提出され、選挙の結果、新議長に行木光一議員、新副議長に都祭広一議員が選出された。また、各委員会委員の改選と一部事務組合議会議員の補欠選挙を行った。

4日は、議案に対する大綱質疑が行われ、各常任委員会に議案を付託した。4日、5日、6日には、予算決算、総務、文教福祉の各常任委員会において、付託された議案等の詳細な審査を行った。11日、12日には、議員10人による市政に対する一般質問を行った。

16日の最終日には、付託議案等に対する各常任委員長の見解報告があり、採決の結果、議案はすべて承認・可決、継続審査となっていた陳情1件を不採扱とした。

その後、人権擁護委員の候補者について意見を述べ、閉会した。

### 議長・副議長就任のあいさつ



市議会議長  
行木 光一



市議会副議長  
都祭 広一

市民の皆様におかれましては、日ごろから市議会に対し、深いご理解とご協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。私どもは、先月の12月定例会において、議員各位のご推挙をいただき、議長・副議長の職に就任いたしました。

誠に身に余る光栄であります。その重責を思うとき、身を引き締め新たな気持ちで職務を全うしていきたくと考えております。市議会といたしましても、師瑳市が将来都市像として掲げた「海・みどり・ひとがはぐくむ活力ある

まち 師瑳市」の実現に向け、社会・経済情勢の変化に的確に対応し、多様化する市民要望に迅速に答えてまいりたい所存であります。

また、市長をはじめとする執行部とは、お互いの立場をよく理解し合いながら、市民福祉の向上と市政発展のために全力を尽くしてまいります。

今後とも、市民の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康をご祈念申し上げます。就任のあいさつといたします。

#### 主な内容

定例会の概要	P1
委員会の審査、議会人事	P2
一般質問	P3~7
審議結果	P8

市議会の  
ホームページ  
はコチラ



# 委員会の審査

総務常任委員会

## ■議案第12号

光プロードバンド施設  
無償譲渡

**問** 譲渡後、市民が使用して支障がないことを保証する約定のようなものはあるか。

**答** 「企画課長」 光プロードバンドの安定供給について、今後、光プロードバンドに変わる違う方式になる可能性もあることから、契約書には明記できないが、引き続きサービス提供に努める旨、書

面での提出があった。

**問** 譲渡後の故障、破断災害等の対応は東日本電信電話株式会社となるのか。

**答** 「企画課長」 今後の維持費、故障等が発生した場合の対応は、全て東日本電信電話株式会社

が適正に維持管理を行うこととなっている。

**問** 調印はこれからか。

**答** 「企画課長」 議決後1月から譲渡に向けた手続きを開始する。内容としては、国、県等の道路管理者、東京電

力等と協議、申請を行い、令和7年3月に譲渡の締結を行いたいと考えている。

## ◆審査結果

付託された議案5件は、いずれも賛成全員で原案可決。陳情1件は賛成なしで不採択。

文教福祉常任委員会

## ■議案第10号

病院事業管理者の給与等  
条例の改正

**問** 第1条では、期末手当の支給率を100分の235に上げて、第2条では、100分の230に下げるとしている。なぜ、そのようなことをするのか。

**答** 「市民病院事務局長」 人事院勧告で、期末手当の支給率を年間で0・1月分引

き上げるという勧告が出ている。それに基づき、今年度分については、12月の期末手当のみで引き上げることにするため、0・1月分を引き上げ、来年度分については、0・1月分を6月と12月の期末手当でそれぞれ0・05月分の引き上げに直す必要があることから今回このように改定する必要がある。

**問** 管理者の100分の235というのは、一般職の期末・勤勉手当の支給率の合計と同じ割合になっているという認識でよいか。

**答** 「市民病院事務局長」 委員のお見込みのとおり、一般職と同じ率での支給となっている。

◆審査結果  
付託された議案1件は、賛成全員で原案可決。

予算決算常任委員会

## ■議案第2号

令和6年度一般会計補正  
予算

**問** 病院事業会計助成事業の中の医師確保対策等に係る経費について、医師確保対策とは何を行っているのか。

**答** 「市民病院事務局長」 医師確保のために奨学金を交付するもので、医師については3名、看護師については3名の奨学金のため、病院事業会計への補助金を増額補正するもの。

◆議案第6号  
令和6年度病院事業会計  
補正予算

**問** 医師・看護師等養成費の内容は。

**答** 「市民病院事務局長」 養成費は、全て奨学金ということで毎月貸し付けるもので、医師については月30万円、看護師のうち4年制の大学に通う者には月10万円、看護専門学校に通う者には月5万円の貸付け、医師についてはその貸付期間の1・5倍を当院で勤務すれば返済が免除、看護師については貸付期間と同等の期間勤務すれば貸付けが免除となる。

## ◆審査結果

付託された議案6件は、いずれも賛成全員で承認・可決。

## 議会人事

12月定例会において議会人事を行いました。委員会委員及び一部事務組合議会議員は、次のとおりです。

### ◆委員会委員

#### ◆議会運営委員会

委員長 武田光由  
副委員長 石橋春雄  
委員 石田勝一、  
田村明美、  
荻谷進一、

山崎 等、林 明敏、  
近藤魁人

委員長 石橋春雄  
副委員長 椎名勝英  
委員 石田勝一、  
武田光由、林 明敏、  
増田清巳

◆総務常任委員会  
委員長 近藤魁人  
副委員長 増田正義  
委員 荻谷進一、  
山崎 等、行木光一、  
都祭広一

◆予算決算常任委員会  
委員長 平山政利  
副委員長 伊東一成  
委員 委員は、委員長

◆文教福祉常任委員会  
委員長 内山隼人  
副委員長 田村明美  
委員 佐藤 悟、  
石田加代、平山政利、  
伊東一成

◆一部事務組合議会議員  
東総衛生組合  
林 明敏、増田正義

◆産業建設常任委員会

■千葉県後期高齢者医療広  
域連合 石田加代

## 市政に関する一般質問

### 12月定例会

一般質問は、市政全般にわたり、市長など

に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問や提案を行うとともに、報告や説明を求めるもの

です。

12月定例会では10名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し、掲載しました。



林 明敏議員  
(市民クラブ)



## 今泉津波避難タワーについて

事業経過は。

**問 「市長」** 東日本大震災における津波被害を受けて、平成27年度に緊急的な一時避難施設として整備したが、さびによる腐食がタワー全体に進行しており、施設の安全性を確保することが困難な状況のため、令和6年4月1日に使用を中止した。建設時の工期は平成26年10月29日から平成27年7月31日まで、本体工事費は7,830万円、工事設計業務委託料は148万500円、工事監理業務委託料は129万6千円、用地取得費等が860万4,948円で、財源は、国の東日本大震災復興交付金3,550万7千円と、一般財源等5,417万4,448円。

**問** 今泉浜地区に建設される家畜保健衛生所は、大規模地震の際に想定される津波対策として、床面の高さをかさ上げして、1000年に一度の発生頻度でレベル2の津波における0.5メートル程度の浸水を想定し、浸水レベルより高い位置までかさ上げた計画であり、当該施設の1階床に届かない想定と

なっている。津波発生時に屋上を避難施設として提供できるスペースを設けている。

また、地元の子どもの見学や地域住民の方向けに内覧会を予定しているとのことだが。

**答 「農林水産課長」** 内容に変更はない。

**問**

また塩害の被害を受けると思われるので、避難道路整備と家畜保健衛生所の避難施設の利用計画を地元の方々に丁寧に説明し、建て替えをしなくてもよいと思つが。

**答 「市長」**

現在、改築に向けた設計業務を行っている。家畜保健衛生所についても、避難所として使用できるように県と協議を進めている。津波避難タワーは、高齢者、障害者等の被害時に配慮を要する方の避難を想定したスロープがあり、家畜保健衛生所のほうにはないということもある。そのようなことから、配慮を要する方の避難は、家畜保健衛生所だけでは津波避難タワーの機能を担うことが困難であると考えており、津波避難タワーの改築は必要であると考えている。

**問**

建設時に活用した東日本大震災復興交付金3,550万7千円について、解体した場合どのようになるか。

**答 「総務課長」**

交付金の取扱いについて、県を通じて国と協議を行っている。



武田光由議員  
(公明党)



## 断らない相談事業について

**問**

どんな相談事も断らず窓口で受け止め、継続的に地域の力も借りながら解決に向け支援していく重層的支援体制整備事業は、市が進めようとしている計画の趣旨に合致している。

**答 「市長」**

誰一人取り残さない地域共生社会の実現につなげるため、今年度末に策定予定の地域福祉計画及び地域福祉活動計画の内容に、重層的支援体制整備事業の必要性等を加えていく予定で、これに伴い、県内の先進市等への視察や情報交換等を行うてまいりたい。

## 認知症対策について

**問**

認知症の方とその家族の尊厳ある暮らしを守る上で、認知症の方の行動や心理症状の発生を抑制する効果的な技法「ユマニチュード」の普及を。

**答 「市長」**

認知症の方がよりよいケアを受けられるよう、議員御提案のユマニチュードを参考に、市が実施する家族介護教室等での理念と技法を取り入れたプログラムの

実施を検討していく。

また、介護保険サービス事業者の職能団体である匝瑳市介護保険事業者連絡会にも情報発信していく。

**問**

認知症と診断された後、希望を失うことなく行動できるよう、認知症の方が自らの認知症に関する経験等を当事者同士で共有する機会を確保し、本人や家族の不安を軽減することは大変に重要。

そこで、認知症の本人等が情報共有やアドバイスを受けられるよう、インターネット上による交流も含めた地域認知症ピアサポート環境の整備も重要と考えるが。

**答 「市長」**

議員御提案のインターネットを利用した交流の先行事例を調査研究し、本市のピアサポート環境のさらなる充実と拡充に努め、認知症の方の思いや願いがかなえられる地域づくりに取り組んでいく。

## 婚姻届の記入例見直しについて

**問**

婚姻届の記入例は、婚姻後の夫婦の氏が夫側にチェックを入れていくことが多い。

夫婦どちらの姓を選択するかを考えることは、選択的夫婦別姓制度の法制化についても考える機会になる。

**答 「市長」**

本市の婚姻届の記入例も見直すべき。現在使用している記入例を見直してまいりたい。



内山隼人議員  
(Think globally,  
Act locally!)



## 資源を廃棄しない循環型経済モデル「サーキュラーエコノミー」への移行を

**問** 人間が地球上で持続的に生存していくために地球環境が許容できる限界を示したプラネタリーバウンダリーでは、9項目中6項目で限界を超えており、地球環境は危機的な状況に直面している。

私たち人間は、自然界の循環に本来存在しなかった数々の人工物を生み出してきた。それらは一つの役割を全うした後、人間が手をかけなければ次の役割を担うことができず、自然界では発生し得なかった廃棄物になってしまふ。大量生産・大量消費型の経済活動は、大量廃棄を生み出し、役割を失った廃棄物がもはや無視できない程度にまで影響を及ぼすようになった。何かが何かの資源として役割を持ち続け、廃棄物を生まない持続可能な経済モデルへの移行が世界的に求められている。

「めぐる」という意味のある字を市名に持つ匠瑛市こそ、循環型の経済モデルを積極的に目指すことで市のブランドディングになるとともに、過剰な消費活動によって資源や家計をすり減らしていくのではなく、モノとともに豊かさをめぐらせ、暮ら

しやすいまちをつくっていくことができるのではないかと。

**答** 「市長」循環型経済モデルの形成、サーキュラーエコノミーへの移行については、廃棄物の削減やリサイクル率の向上等、資源循環を促進することで環境負荷の軽減及び経済の活性化等に発展することから、非常に有効な取組であると認識している。

## イノシシの増加と駆除隊員の減少を踏まえつつ有害鳥獣対策を

**問** 匠瑛市と近隣自治体の駆除委託費の状況は。

**答** 「農林水産課長」匠瑛市は22万円、銚子市は77万円、旭市は209万4,000円、香取市は40万円、多古町は64万8,000円、横芝光町は60万円。

**問** 駆除隊員の高齢の方は引退間近、現役世代はふだん仕事をし、休日も予定がある中で調整して駆除活動に参加している。

駆除の成果を上げていくには、国・県の補助金を活用して報償費という形で、テコ入れをする必要がある。近隣の報償費の導入状況は。

**答** 「農林水産課長」イノシシ1頭当たり、銚子市、旭市は1万円、香取市は1万2,000円、多古町は成獣1万2,500円、幼獣8,000円ということとで報償費を設けている。



増田清巳議員  
(匠瑛風)



## 市街地の災害対策の強化

**問** 近年増加するゲリラ豪雨や市街地の宅地化により、脆弱化している都市機能の強化が必要であるが、国道とJRを横断する水路は40年以上改修されていない。対策は。

**答** 「市長」昨今の台風や集中豪雨に対して流下能力が不足し、中央地区で一時的な冠水が発生するため、既存道路側溝等の堆積物撤去等を行っている。道路改修の際には、排水勾配の能力の向上に努めている。抜本的な対策には、多額の工事費用と長い年月が想定され大変厳しい。

## 市営住宅の公園管理

**問** 市営住宅の公園について、もう少し管理できないか。

**答** 「都市整備課長」整備から40年以上経過しているが、近隣の住民が安心して集うことのできる公園の適正管理に努めてまいりたい。

## 体育施設の整備の遅れ

**問** 市民の健康増進のため、個人で利用できる体育施設は重要だと考

えている。

八日市場ドームのジョギングコースと通路のフィットネスの利用人数は約2人/日、旭市の施設は90人/日と聞いてちょっと悲しいと感じてしまう。八日市場ドームにトレーニングルームを設置できないか。

**答** 「生涯学習課長」現在、適したスペースがなく、設置は難しいと考えている。

**問** のさかアリーナのトレーニングルームは本市唯一の施設だが、利用人数は2人/日程度。機器は老朽化し、破損している機器もあり、その対応は。

**答** 「生涯学習課長」軽微な修繕は早急に対応したい。

**問** ウォーミングアップのための正式なランニングマシンは1台もない。機器の修繕や更新計画はどうか。

**答** 「生涯学習課長」利用状況や機器の状態を踏まえて関係課と調整したい。

**問** 八日市場ドームの洋式トイレは、全体の18%しかない。(全体38か所のうち、洋式7か所)

今では80%以上のトイレが温水洗浄トイレとのこと。節水の観点からも洋式は約半分の水で済むので改修してほしい。

**答** 「生涯学習課長」改修が必要と認識しており、実施時期について関係各課と調整したい。

**問** ボルダリングやスケートボードは大変人気があり、設置を検討してほしい。

**答** 「生涯学習課長」安全性を考慮すると適したスペースがなく、設置は難しいと考えている。



石橋春雄議員  
(創匠の会)



## 籠部田地先の道路改良工事の進展

**問** 国道126号交差点から県道八日市場山田線へ結ぶ籠部田地先の道路改良工事が中断している。レストラン・ガストが解体され用地交渉が進んだかと期待したが動きがない。進展はないのか。

**答** 「建設課長」 市道に認定されているが、整備は千葉県が事業主体となる。現在工事の予定はない。市としても事業実施に向け働きかけていく。

**問** ガストが解体されたときに働きかけをしなかったのか。

**答** 「建設課長」 海匠土木事務所には伺っていない。

## LPガス災害対応バルク設備導入

**問** 災害が発生すると電力が途絶える危険がある。災害に強いエネルギーがLPガスと言われる。ガス発電機を利用して避難所となる生涯学習センター等の空調、発電、照明、炊き出し給湯等に対応できる。

全国で経済産業省の2分の1の補助を活用した市町村、病院、福祉施設が1,600か所ある。災害だけでなく、日常生活にも使える防災施設整備促進を進めていただきたい。

**答** 「市長」 災害における避難所の電力確保は大きな課題である。安定稼働が見込める設備であることから、先進事例について調査研究してまいりたい。

## 匠瑳ブランドの開発

**問** オリブの栽培やどぶろくの製造などが注目されている。匠瑳ブランドや特産品の開発で匠瑳市を元気にしていきたい。

**答** 「農林水産課長」 オリブの栽培状況は、面積1・3ha、420本植栽している。

「商工観光課長」 どぶろくの原材料であるお米は有機栽培であることから、状況によりお米の取れ具合が少なかつた。製造を来年の年末を目標にしている。

## 松山清掃工場の解体と中継施設

**問** 解体工事が6億3千万円で落札されたと報告があった。令和4年度に始まる予定だった中継施設整備事業も動き出した。令和3年3月の匠瑳市ほか二町環境衛生組合の企業債償還額と財政調整基金はいくらか。

**答** 「財政課長」 企業債の償還はなし、財政調整基金は4億2千万円。

**問** 銚子市清掃センターの解体費用の財源内訳はどうなっているか。

**答** 「環境生活課長」 解体費が8億5千万円、交付税措置額を控除した3億8千万円を銚子市が1億5千万円、旭市が1億5千万円、匠瑳市が7,600万円を負担する。



伊東一成議員  
(匠風)



## 地方自治体「持続可能性」分析レポートについて

**問** 匠瑳市が前回に引き続き消滅可能性都市として分類されたことについて、市としてどのように受け止めているか。

**答** 「市長」 本市については、社会減対策が極めて必要、自然減対策が必要とされており、貴重な分析結果であると受け止めている。

分析レポート結果を参考として、現在進めている第3次匠瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に生かし、人口減少対策に取り組んでまいりたい。

## 子育て支援について

**問** 子育て世代の住宅取得や家賃に対して補助金を給付しては。

**答** 「市長」 結婚新生活応援事業や転入者マイホーム取得奨励金事業を実施し、子育て世帯の住宅取得を支援している。

提案の補助事業については、匠瑳市子育て支援対策委員会の中で、近隣の子育て支援対策の調査と併せて協議を行ってまいりたい。

**問** 乳幼児に紙おむつを給付しては。

**答** 「市長」 前述の匠瑳市子育て支援対策委員会において、旭市が実施しているおむつ券の配付を含む県内の子育て支援施策の実施状況や必要な予算措置等を確認するなど情報の共有を図っており、今後も継続的に協議を行っていく。

## 新規就農について

**問** 新たに就農を目指す者に対する市の支援について伺う。

**答** 「市長」 スキルアップを目指す新規就農者に対して、農業後継者新規就農支援助成金を交付している。

また、市ホームページに新規就農者・就農希望者向けの就農相談や知識、技術の習得、補助事業等の支援制度の役立つ情報を公開するとともに、市公式Xを活用した情報発信を実施している。

## 橋梁の維持について

**問** 直近の橋梁点検の結果について伺う。

**答** 「建設課長」 点検の判定は、橋梁の健全性の判定区分を1から4に分類し、判定区分の数字が小さいほど健全性が高い状態となる。

直近の令和3年度に実施した管理施設数204橋の定期点検の結果は、1判定が151橋、2判定が51橋、3判定が2橋であり、4判定はない。



議員 椎名勝英  
(日本共産党)



## 全国の小中学校では不登校が11年連続増加、いじめは83・6%の学校で認知

**問** 文科省の調査では、令和5年度に全国の小・中学校で30日以上欠席した不登校児童・生徒は11年連続で増加している。不登校の小生は約13万人、中学生が約21万人であった。また、いじめの認知件数も小中高全学校の83・6%に当たる約3万校で認知があり、深刻な被害が生じるまで学校側がいじめを把握できないこともある。匠瑳市の実態と対策について聞きたい。

**答** 「**教育長**」本市の現状として、不登校の児童・生徒は、令和5年度は小学生26名、中学生34名、合計60名で、令和4年度と同数となっている。

しかし、コロナ禍前の令和元年度との比較で3倍ほどに増加しており、本市も全国と同様に増加傾向にある。

いじめ認知件数は、令和5年度の小学校では44件（前年度比1件増）、中学校では6件（前年度比4件減）となっているが、重大事態はなかった。

小学校では子ども同士のトラブル、中学校ではSNSの書き込みなどの内容で、アンケートや保護者・本人からの相談で認知される。

いじめの早期発見・対応のため、スクールカウンセラー、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーなどを配置し、対応している。

## 市民病院通院のための循環バス・デマンドタクシーも不便

**問** 「市民病院通院は、特に午前中の循環バスが不便、デマンドタクシーの利用も、診療終了時間が分らず予約が難しい」と市民は改善を求めている。

**答** 「**市長**」市内循環バスは路線や時刻表などの再編を行ったばかりで、慣れるまで一定時間がかかるので、2〜3年の期間が必要。また、75歳以上の高齢者にはタクシー料金の一部を助成しているの、活用いただきたい。

## さざんか広場（野球場）の夜間照明器具が破損、危険なので補修を

**問** 電球が切れ、コンデンサーが垂れ下がり、危険なので早急に補修工事を要望したい。

**答** 「**教育長**」補修工事については、関係課と調整していく。なお、一部部品が垂れ下がっている部分は早期に応急処置を施したい。



議員 田村明美  
(日本共産党)



## 鳥インフルエンザ発生後の最終処分あり方

**問** 鳥インフルエンザの発生が確認された場合、家畜伝染予防法に基づき、県が主体となって、鶏舎の全鶏を早急に殺処分後、焼却施設で焼却、または袋に密閉した状態で土壌に埋却することとされている。市内でも、殺処分後の鶏が土壌に埋却されている。埋却した現場の近隣の方々から、このまま放置され続けるのか、土壌や地下水に悪影響はないのか、という不安の声が寄せられている。一定年数経過後に、掘り出して、焼却処分すべきではないか。鳥インフルエンザ発生件数等と行政の方針を伺う。

**答** 「**市長**」県では法に基づき、殺処分場所の選定、埋却方法、埋却後管理については農林水産省通知を基に実施している。県に確認したところ、国の安全基準に基づき埋却処分しているの、掘り出し焼却する予定はないとのこと、市としてもそれに倣うものである。

529羽）、令和4年度3件（焼却約58万羽、埋却約3万羽）である。県によると、埋却場所や民間焼却場は、近隣への影響を考慮し非公開としている。

**問** 埋却場所付近の土壌、水質の検査は行っているのか。  
**答** 「**農林水産課長**」これまで実施していない。

**問** 近隣住民は大変心配しており、掘り出して焼却処分することを望んでいるが、このまま放置するという国・県・市の方針が本当に安心できるというなら、市から「安心である」というメッセージが必要。  
**答** 「**農林水産課長**」検討したい。

**問** 掘り出して焼却する場合の費用負担、焼却施設の手配等、市の支援を伺う。

**答** 「**農林水産課長**」家畜伝染病予防法により国・県が負担するもの以外は家畜所有者の自己負担だが、それに対し国が補助を行う。市の直接支援は想定されていない。

**問** 心配している市民は、どこに相談できるのか。  
**答** 「**農林水産課長**」担当は県の畜産課だが、初期的な相談なら、市農林水産課に相談を。



近藤 魁人 議員  
(匠の風)



## 企業誘致と環境の整備について

**問** 起業支援制度について、市としての評価、また成果は。

**答** 「**商工観光課長**」 創業塾をはじめ、補助金や利子補給制度を活用することで創業につながっており成果が出ている。

**問** 本起業支援制度の継続及び拡充をぜひお願いしたい。本制度の継続及び拡充に関して、市としての考えは。

**答** 「**商工観光課長**」 市としては、まずは現行制度の周知を図り、創業につながる件数を増やしていきたい。制度の拡充については、貴重な御意見として承らせていただく。

**問** 他の自治体では、法人住民税を一定期間減免するなど、独自性のある事例もある。企業誘致制度の大胆な拡充などを検討されてみてはいかがか。

**答** 「**商工観光課長**」 本市にとってどういった制度が効果的か、引き続き調査研究していく。

## 地域おこし協力隊制度について

**問** 地域の人材確保において、地域おこし協力隊制度は有効な手段であり、現在匠瑤市で活躍されている隊員の皆様は、着実に成果を上げられていると評価している。

**答** 「**企画課長**」 各担当課において、施策の推進や課題解決等の一つの手段として、それぞれの取組に沿った地域おこし協力隊の活用を検討している。

**問** 匠瑤市の地域資源を活用しながら、逆に隊員の皆さんから提案をしていただく、通称フリーミツション型での募集を検討してみてはいかがか。

**答** 「**企画課長**」 今後、その必要性や効果等について調査研究してまいりたい。

**問** 地域おこし協力隊の起業制度は、国が今力を入れている制度。ぜひ幅広い分野で活用していただきたい。市長の意見はいかがか。

**答** 「**市長**」 本場に有用な人材の活用につながると思う。全庁的に考えながら、さらに地域おこし協力隊を活用していきたいと考えている。



荻谷 進一 議員  
(二十一世紀の会)



## 福祉問題

**問** 子ども・子育て支援について、本市が、国・県から頂いている事業に対する補助金は適正に執行されているのか。

**答** 「**市長**」 補助金は適正に支出されていると認識している。

**問** こども家庭庁長官から出ている都道府県知事宛の書面は見たことがあるか。

**答** 「**市長**」 はつきりとわからない。

**問** 支給に対し色々な個々の事業がある。上限枠を設けて上限と実施額と最高額のうちから出費をするとある。上限額で、制限を出さず国・県の法令に反した状況で執行している。余分な補助金を出しているから余剰金があり、役員が多く取っている。市長が直接的に連絡を取ることにはもってのほかである。再確認し、改めてもらいたい。余分なお金を払うべきではない、市のお金も入っているので違うものに少しでも回した方が良くと思う。

**答** 「**市長**」 情報をいただいたので、書類内容、確認し担当課に精査を指示し、精査の上、検討させていただきます。

## 病院問題

**問** 病院の入札方式はプロポーザル入札と聞いているが、どういう入札方式なのか把握しているか。

**答** 「**市長**」 それぞれ業者に競っていただき、一番いいところを評価して選ぶ入札方法かと認識している。

**問** 少し違うがプロポーザルの内容を把握してもらいたい。このことに対して業者、議員と面談や情報の取引はしていないか。

**答** 「**市長**」 設計業者は挨拶に来てはいるが、情報を出すとかは一切ない。

**問** コンサル業界、ゼネコン業界で談合情報的なものが流れている。コンサル会社と大手ゼネコンと現場ゼネコンが組んでやる、議員も絡んでいるという談合情報が流れている。コンサル会社とゼネコンが組んでいたらプロポーザルは危険だ。建設コストが上がっている中で銚子市の入札がどうなったか知っているか。

**答** 「**市長**」 不調に終わったと認識している。

**問** 計画性が全然ない。議員や市民に病院事業の予算がわかるよう説明してもらいたい。その上で最終的に判断すべきだと思う。私は新病院建設に反対ではない。多古町や横芝光町と組めば財特法が使える。組むことも考えた方がよいのではないか。

**答** 「**市長**」 金額のこととか財政のこととはしっかりと考えていきたい。

# 12月定例会の審議結果

議案番号	議案名等	議員名	審議結果	増田	近藤	伊東	石橋	内山	椎名	都祭	増田	平山	林	山崎	行木	武田	石田	佐藤	荻谷	田村	石田
				清巳	魁人	一成	春雄	隼人	勝英	広一	正義	政利	明敏	等	光一	光由	加代	悟	進一	明美	勝一
1	専決処分の承認を求めるとについて（令和6年度匠瑛市一般会計補正予算（第5号）について）		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
2	令和6年度匠瑛市一般会計補正予算（第6号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
3	令和6年度匠瑛市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
4	令和6年度匠瑛市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
5	令和6年度匠瑛市介護保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
6	令和6年度匠瑛市病院事業会計補正予算（第1号）について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
7	匠瑛市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
8	匠瑛市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
9	匠瑛市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
10	匠瑛市病院事業の管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
11	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
12	財産の無償譲渡について（匠瑛市光ブロードバンド施設）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
9月定例会 陳情第1号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書		不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×
—	人権擁護委員の候補者の推薦について			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※「議」議長は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対 欠は採決時、欠席 退は退席 除は除斥

## 令和7年3月定例会の予定

（2月28日～3月18日 会期19日間） 開会時間：午前10時

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	3/1
		議会運営委員会			開会	
2	3	4	5	6	7	8
	質疑調整のため休会	質疑調整のため休会	大綱質疑 予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	総務常任委員会	
9	10	11	12	13	14	15
	文教福祉 常任委員会	産業建設 常任委員会	質問調整のため休会	一般質問		
16	17	18	19	20	21	22
	総合調整のため休会	閉会				

※日程は変更となる場合があります。  
日程や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局またはホームページまで。 ☎0479 (73) 0099

## 令和6年11月から 令和7年1月まで 議会日誌

- R6/11月 8日 後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会
- 12日 議会報編集委員会
- 26日 議会運営委員会
- 29日 12月定例会開会、本会議【議案上程】
- 12月 4日 本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会 全員協議会
- 5日 総務常任委員会
- 6日 文教福祉常任委員会
- 11日 本会議【一般質問】
- 12日 本会議【一般質問】
- 16日 本会議【採決】、12月定例会閉会、全員協議会
- R7/1月 10日 議会報編集委員会
- 20日 後期高齢者医療広域連合議会運営委員会 全員協議会
- 22日 北総地区市議会正副議長会臨時会
- 30日 後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会

（以上主なもの）

## 編集後記

新たな春の息吹を一足早く感じるのが、梅の花の開花です。桜の花が、日本人の潔さを象徴する花ならば、梅の花は、寒い冬に耐えながら芽吹き不屈の精神を現している花といっても良いでしょう。そのような花の心を感じる事ができる日本の四季は、素晴らしいと感じます。

さて今号では、補正予算を中心に議案12件が審議され、一般質問、常任委員会と活発な議論が展開された、12月議会の概要をまとめていきますのでご覧ください。

そして、これから開会される3月議会は、新年度の大事な予算編成のための議会となります。市民皆様から頂いた負託にこたえるために、議員が自身の見解を市政の場で問うて参ります。ぜひ議会での傍聴や、インターネットでの議会中継をご利用いただき、市議会を身近に感じて頂きますようお願い申し上げます。

### 匠瑛議会だより 編集委員会

- 委員長 都祭 広一
- 副委員長 近藤 魁人
- 委員 石橋 隼人
- 委員 内山 光由
- 委員 平山 春雄
- 委員 行木 政利
- 委員 光一